

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年12月18日 (2008.12.18)

【公開番号】特開2007-229648(P2007-229648A)
 【公開日】平成19年9月13日 (2007.9.13)
 【年通号数】公開・登録公報2007-035
 【出願番号】特願2006-55878(P2006-55878)
 【国際特許分類】

B 0 5 C 11/08 (2006.01)

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

【 F I 】

B 0 5 C 11/08

G 0 2 B 1/10 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成20年10月29日 (2008.10.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

スピコート法にてレンズに塗布処理を施すスピコート装置であって、
 上面に前記レンズを載置して垂直軸回りに回転する回転保持台と、
 前記回転保持台の周囲を覆うスピンカップと、
 前記レンズに塗布液を吐出する吐出部と、を備え、
 前記スピンカップの側壁に、回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液を回収する開口部が設けられ、

回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液の前記スピンカップ側壁への到達位置が前記開口部位置となるよう、前記スピンカップと前記回転保持台とを、前記レンズのレンズ面形状および前記レンズを回転させる際の回転数に基づき、前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動することを特徴とするレンズのスピコート装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のレンズのスピコート装置において、
前記スピコート装置は、
前記回転保持台の垂直軸方向に沿って、前記開口部を挟んだ前記スピンカップ側壁の上下面にそれぞれ前記塗布液を検出する一対の検出センサを、さらに備え、
前記一対の検出センサが前記回転するレンズから振り切られた塗布液の付着を検出したとき、前記スピンカップと前記回転保持台とを前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動する位置補正が行われることを特徴とするレンズのスピコート装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 8 】

前記した目的を達成するために、本発明のレンズのスピコート装置は、スピコート法にてレンズに塗布処理を施すスピコート装置であって、上面に前記レンズを載置して

垂直軸回りに回転する回転保持台と、前記回転保持台の周囲を覆うスピncアップと、前記レンズに塗布液を吐出する吐出部と、を備え、前記スピncアップの側壁に、回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液を回収する開口部が設けられ、回転する前記レンズから振り切られた前記塗布液の前記スピncアップ側壁への到達位置が前記開口部位置となるよう、前記スピncアップと前記回転保持台とを、前記レンズのレンズ面形状および前記レンズを回転させる際の回転数に基づき、前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明のレンズのスピncコート装置は、前記回転保持台の垂直軸方向に沿って、前記開口部を挟んだ前記スピncアップ側壁の上下面にそれぞれ前記塗布液を検出する一対の検出センサを、さらに備え、前記一対の検出センサが前記回転するレンズから振り切られた塗布液の付着を検出したとき、前記スピncアップと前記回転保持台とを前記回転保持台の垂直軸方向に相対移動する位置補正が行われることが好ましい。